

別府市市民ホール及び大分県立別府コンベンションセンターの 指定管理候補者の選定結果について

1 経緯

別府市市民ホール及び大分県立別府コンベンションセンターの指定管理候補者の選定にあたり、別府市市民ホール及び大分県立別府コンベンションセンター指定管理候補者選定委員会（以下、選定委員会）は、応募事業者から提出された書類の審査を行ってまいりましたが、このたび、審査・選定が終了いたしましたので、ここに結果をお知らせします。

2 選定委員会委員

委員長 宮野 幸岳（大分県立芸術文化短期大学国際総合学科准教授）
委員 福島 知克（大分瓦斯株式会社代表取締役社長）
委員 桜井 美也子（桜井美也子税理士事務所）
委員 白石 修三（別府市経済産業部長）
委員 山本 修司（大分県企画振興部観光・地域局長）

3 指定管理候補者選定の経過

項目	年月日
●第1回選定委員会 (審査基準、スケジュール、募集要項等の検討)	平成30年7月3日(火)
公募開始 (公告)	平成30年7月10日(火)
公募に関する現地説明会実施	平成30年8月1日(水)
公募に関する質問受付	平成30年7月12日(木)～ 平成30年8月10日(金)
申請書の受付(申請1団体)	平成30年9月3日(月)～ 平成30年9月10日(月)
●第2回選定委員会 (ヒアリング、審査、協議・選定)	平成30年10月10日(水)

※●は選定委員会

4 審査の方法、審査基準及び配点

平成30年7月3日に開催した第1回選定委員会において、審査基準及び配点を定めました。この内容は、募集要項に記載しています。

選定基準	審査の項目	配点
1. 住民の平等な利用が確保されるとともにサービスの向上が図られるものであること	施設の設置目的及び別府市・県が示した管理の方針	15点
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	× 5人 = 75点
	サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	
2. 公の施設の効用を最大限に発揮するものであること	利用者増を図るための具体的な手法及び期待される効果	25点
	施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	× 5人 = 125点
3. 管理の経費の縮減が図られるものであること	施設の管理運営に係る経費の内容	30点 × 5人 = 150点
4. 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること	収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	30点
	安定的な運営が可能となる組織体制	× 5人
	安定的な運営が可能となる経理的基盤	= 150点
	類似施設の運営実績	
	情報保護の取組	
計		500点

5 申請団体一覧

平成30年7月10日から9月10日までの間、公募を行い、以下の団体から申請がありました。

団 体 名	(共同事業体の場合) 代表団体名及び構成団体名
ビーコンプラザ共同事業体	代表団体 (株)コンベンションリンケージ 構成団体 (株)テイクファイブ (株)メンテナンス

6 選定結果及び選定理由

平成30年10月10日に開催した第2回選定委員会において厳正な審査を行った結果、次の団体を指定管理候補者として選定しました。

【団体名】

ビーコンプラザ共同事業体

代表団体 株式会社コンベンションリンケージ

構成団体 株式会社テイクファイブ

株式会社メンテナンス

【選定理由】

県内を含め全国10都道府県14施設でコンベンション施設の運営実績があり、施設間のネットワークを形成し、豊富なイベント情報を有している。こうした情報を活用したイベント誘致により利用者増加の期待ができる。

また、国内外の大規模イベントから地域住民が参加できるイベントまで幅広い企画を提案している。電気代については、毎年契約事業者の見直しを行うなど経費節減に努めており、提案内容は全体的に一定レベル以上にある。

目標指標である施設の稼働率は、現在の指定管理期間中では熊本地震の影響があった平成28年度を除いて達成しており、今後も県や別府市と協同したイベント等の誘致活動による目標達成が期待される。

【指定期間】

平成31年4月1日～平成36年3月31日（5年間）

7 審査の評価及び得点

(各団体の評価項目毎の得点、総得点及び総合評価)

選定基準	審査の項目	内容	ピーコプラザ 共同事業体	
1	住民の平等な利用が確保されるとともに、サービスの向上が図られるものであること。 (市条例第3条第1号) (県条例第4条第1号)	(1)施設の設置目的及び別府市・県が示した管理の方針	①施設の設置目的に合致した内容であるか ②市及び県の管理の方針と事業者が提案した運営方針が合致するか	10 10
		(2)平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	①事業内容に偏りがないか	9
	(3)サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	①サービス向上のための取組や募集要項に示した内容への提案は適切か	8	
		②自主事業の提案は施設の設置目的に照らし適切か、また効果があるものか	10	
	小 計			47 / 75
2	公の施設の効用を最大限に発揮するものであること。 (市条例第3条第2号) (県条例第4条第2号)	(1)利用者増を図るための具体的な手法及び期待される効果	①広報計画の内容は適切か ②利用増への取組内容は効果を期待できるものであるか ③地域、関係機関、ボランティア等との連携・協働が図られているか	8 26 9
		(2)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	①全体的に施設の機能を活用した内容となっているか	11
			②維持管理は効率的に行われているか	11
	③施設管理・安全管理は適切か		11	
	小 計			76 / 125
	3	管理の経費の縮減が図られるものであること。 (市条例第3条第2号) (県条例第4条第2号)	(1)施設の管理運営に係る経費の内容	①基準価格を下回っているか ※応募が1者のため満点 ②経費の縮減及び効率的な運営管理が実現可能なものか
小 計			110 / 150	
4	事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること。 (市条例第3条第3号) (県条例第4条第3号)	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	①収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか	10
			②収支計画の実現可能性はあるか	11
	(2)安定的な運営が可能となる組織体制	①職員体制は十分か	10	
		②職員採用・確保の方法は適切であり、十分な見通しがあるか	8	
		③職員の育成指導・研修体制等により能力の確保が図られているか	6	
	(3)安定的な運営が可能となる経理的基盤	①団体の財務状況は健全であるか、金融機関や出資者等の支援体制は十分か	11	
	(4)類似施設の運営実績	①類似施設を良好に運営した実績はあるか	13	
(5)情報保護の取組	①個人情報保護の取組は十分か	9		
小 計			78 / 150	
合 計 得 点			311 / 500	

(提案価格)

項目	団体	ビーコンプラザ共同事業体
(提案価格) サービス改善提案分は除く		H31 82,000 千円
		H32 82,000 千円
		H33 81,000 千円
		H34 80,000 千円
		H35 79,000 千円

(サービス改善提案事業の内容と採択額)

	内容	採択額
ビーコンプラザ 共同事業体	H31 分煙システムの導入	H31 545,000円
	H32 開館25周年記念事業	H32 550,000円
	H33 グローバルタワーのインバウンド対策	H33 550,000円
	H34 フロア案内版の更新	H34 550,000円
	H35 " (2ヶ年事業)	H35 550,000円

(総合評価)

総合評価	
ビーコンプラザ 共同事業体	ビーコンプラザ共同事業体は、コンベンション施設の指定管理者として多数の運営実績があり、豊富なイベント情報を有しているため、施設の目標指標である稼働率の目標達成も期待される。また、団体の財務状況も良好であることから、当該施設の管理運営を行う十分な能力を有すると認められる。

8 今後の予定

指定管理候補者は、選定委員会の結果をふまえて市で正式に決定され、市議会の議決を経たうえで、指定管理者として指定されます。

【参 考】

○第1回選定委員会議事要旨

次期指定管理者公募に関する募集要項や管理業務仕様書などの説明を行い、委員会での承認を得た。

(議題に係る質問・意見等)

- ・ 候補者から提出される事業計画や収支計画の書類審査をしっかりと行った上でヒアリングしたいので、募集期間終了後に事務局から内容の報告をお願いしたい。

○第2回選定委員会議事要旨

各提案団体からヒアリングを実施し、審査基準に基づき採点を行い、協議を行った結果、「ビーコンプラザ共同事業体」を指定管理候補者として選定した。

また、ビーコンプラザ共同事業体から提案のあったサービス改善提案事業について審査を行った結果、全員一致で採択された。

(議題に係る質問・意見等)

- ・ 目標値である稼働率達成できる見込みについてどのように考えているのか。
- ・ 別府市民に利用されるイベントをもっと作ってほしい。また、地元の経済波及効果の高いイベントの誘致活動にも更に力を入れてもらいたい。
- ・ 同業者がビーコンプラザの指定管理を行いたいと思えるよう、この5年間で今以上に魅力ある施設になるように努めてもらいたい。